

「地域との繋がりを大事にした丁寧な農業を」

中野 隆介 (37歳) Uターン
(西条市)



1 就農の動機・理由

消防の仕事を退職後、島根県へ移住し、そこで農業に出会った。1年半ほど野菜の栽培を経験したことで愛媛に帰って農業をしたいという思いが強くなり、地元である西条市で就農した。

2 農業経営の概要

○経営の展開

項目	就農時の経営 (令和7年)	現在の経営 (令和7年)	将来の経営 (令和10年)
労働力	男2人 (本人、義父) 女3人 (妻、母、義母)	男2人 (本人、義父) 女3人 (妻、母、義母)	男2人 (本人、義父) 女3人 (妻、母、義母) パート1人
経営耕地	畑 70a	畑 70a	畑 90a
経営内容	白ネギ 20a キャベツ 10a ブロッコリー 10a スイートコーン 10a	白ネギ 20a キャベツ 10a ブロッコリー 10a スイートコーン 10a	白ネギ 30a キャベツ 20a ブロッコリー 20a スイートコーン 20a

○農業用施設

農業用倉庫 1棟
育苗ハウス 1棟

○主要農業機械

トラクター 1台
ネギの皮むき機 1台
管理機 2台
動力噴霧器 1台

3 あしあと

(1) 就農までの主な経歴

出身地 愛媛県西条市
職歴 消防士
島根県にて雇用就農
(R4.12～R6.7)
就農研修歴 なし
就農年月 令和7年1月

(2) 就農時の思い

非農家出身で就農までのハードルは高かったが、「農業をやりたい!」という思いが勝りました。地元の繋がりで畑や農機具を借りることができ、周りの人に技術を教わりながらスタートを切ることができた。

4 就農時の取り組み

(1) 技術の習得

島根県で白ネギの栽培を経験しており、作業をしながら栽培技術を習得した。就農後は、自治会の先輩に白ネギ以外の品目を育苗から収穫、出荷まで教わり、実践しながら技術を学んでいる。

(2) 資金の準備

自己資金だけでなく、県や市、JAに相談して新規就農者確保緊急円滑化対策(初期投資促進タイプ)を活用し、トラクターやネギの皮むき機等を導入した。

(3) 農地・住宅の確保

初めは地域の農家との繋がりが少なかったため、土地があっても借り入れを断られることが多かったが、先輩が農地を貸してくれたことで経営を開始することができた。

(4) その他苦労したこと

夏場の野菜の除草管理と、販路開拓に苦労した。特に、白ネギは栽培期間が長く機械を持っていなかったため、かなりの人手が必要で、作業が追い付かなくなることもあった。また、初めは正品で収穫できても売り先が少なく、余ってしまうことがあり苦労した。

5 農業経営の特徴

今持っている農地を効率よく回し、小規模ながらも手間暇かけた野菜を丁寧に作ることを心掛けている。また、家族経営協定を結んでおり、家族との会話を楽しみながら心地よい空間を作れるよう意識している。

6 これからの夢

今はやっと将来の道筋が見えてきたところです。今後は栽培のスキルアップや規模拡大を図りながら美味しいと言ってもらえる野菜を作り続けたい。

また、地域との繋がりがや家族との時間も大切にしていきたい。

7 成功したキーポイント

コミュニケーションを大切にすること。

日々、様々な人に助けられながら農業経営を行っている。地域の人と日頃からコミュニケーションをとることで信頼関係を築くことができ、農地の情報が得ら

れることもある。

8 就農を目指す方へのアドバイス

就農するには、自己資金をしっかりと持って就農することと、行政やJA、先輩農家等、頼れるところにはしっかりと頼ることが重要だと思います。

農業を始めた頃の頃は出荷後に売れたり、余ったりすることに一喜一憂することもありましたが、日々淡々と丁寧な仕事を続けていくことを意識しています。

○ 指導機関からのひとこと

中野さんは、地域の農業者や関係機関とコミュニケーションを図って謙虚に技術を学び、積極的に情報収集をする熱意や行動力のある方です。また、農業経験を活かした栽培管理や除草管理を丁寧に行っており、学校給食への食材提供等、地域活動にも力をいれておられます。

今後も、地域農業を支える人材として活躍されることを期待しています！

執筆機関

東予地方局農業振興課地域農業育成室
電話番号 0898-68-6812



白ネギの収穫作業